

# 科学センターだより

平成28年度 第8号  
平成29年1月10日発行  
調布市教育委員会指導室  
調布市科学センター

## 講座⑫「星の世界へ」



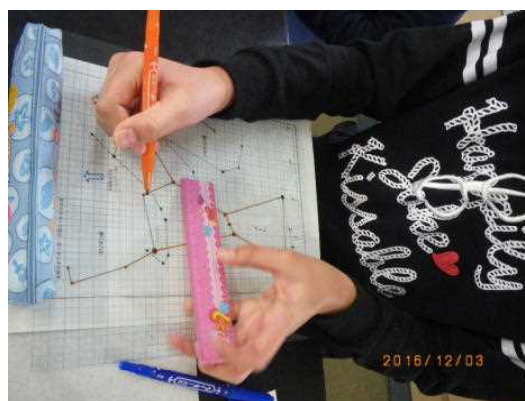
12月3日(土)「星の世界へ」は、大成鐸夫先生が講師になって、「太陽の姿を知る」というお話をしてくださいました。太陽の内部や表面の実際はどうなっているのかを、日本の人工衛星『ひので』によって撮影された映像を使って、紹介してくださいました。また、太陽のコロナやプロミネンス、黒点等の現象をわかりやすく解説してくださいました。太陽で観測されている『5分振動』の発見によって『日震学』という学問が天文学の中で確立されたことにも触れてくださいました。



「冬の星座に親しむ」では、ペルセウス座・オリオン座を通して星座の成り立ちや神話の話をさせていただき、センター員は星空への興味を膨らませました。その後、『星座透視盤』を製作しました。今はほとんど使わなくなったOHPシートに二つの星座を色違いで描きました。これを手を伸ばして持つと、ちょうど、実際の夜空の

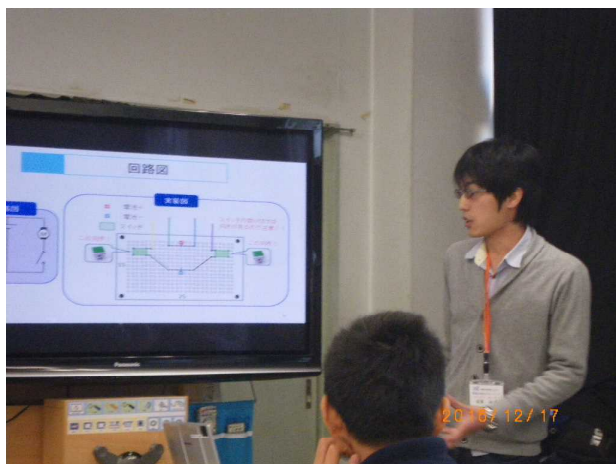


星座と同じくらいの大さきに見えるので、星座を探しやすくなります。星空を観察するチャンスを作ってもらい、興味・関心が高まった様子でした。

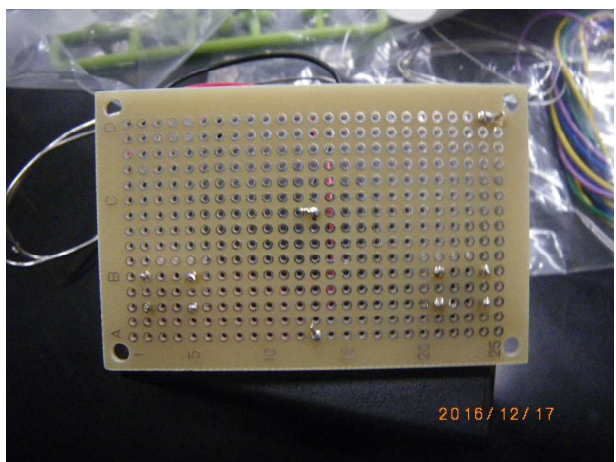


(出席51名 欠席13名)

## 講座⑬「電気工作Ⅱ」



12月17日(土)の講座では、電気通信大学大学院の学生がプログラムした製作キットでロボットを製作し、その仕組みを学びました。この講座は今年で6年目です。毎年、担当の大学院生が改良を重ねてきています。電気通信大学の学部生と大学院生の学生ボランティア16人が各班で製作の援助してくれました。リード線の被膜をおく、基板にはんだ付けをする、具合を見ながら部品を組み合



わけて調整する等かなり難しい作業がありました。うまく動かない原因を推理したり、試行錯誤して確かめたりして工夫し、全員が完成させることができました。私たちの身の回りには、様々なロボットが活躍しています。ロボットの基本的な仕組みが実際にはどのように働いているのか、講座で得た知識をもとに考えてみましょう。



また、講座で得た経験を生かして「ロボットコンテストに挑戦してみたい」「人工知能の研究に進みたい」等、夢や将来の希望につなげてほしいです。

この講座は、電気通信大学の「教育課程部会」と「イニシャティブメカノインフォマティクス・カデット教育」の協賛で実施されています。

(出席43名 欠席3名)



指導して下さった電通大のみなさん



## 講座のお知らせ(1月)

講座⑭:1月14日(土) 講座名「多摩川の野鳥に会いに行こう」

講師・・・ 寺木 秀一 先生 井口 中 先生

### 〔 テーマ 〕

冬になると多摩川は『野鳥の楽園』になります。野鳥を観察し、多摩川の自然について考えよう。

### 〔 内 容 〕

多摩川の鳥の様子を観察して、冬になると多摩川に鳥がたくさん来る理由を考える。年々、多摩川の鳥の数は減っているが、今年の様子を観察する。

『野鳥の楽園』がずっと楽園であるためには、どんなことをしたらよいかみんなで考えてみる。

### 〔 集合場所 〕

科学センター教室

### 〔 持ち物 〕

- 鉛筆と消しゴム
- 雨具として傘やカ  
ッパ(小雨や小雪なら観察に行きます。)
- 紙ばさみ(風でプリントが飛ばされない  
ように止められるもの。下敷きでもよい。)
- 上履き(必ず)
- 下足用のくつ袋
- ◇家があれば持ってきてよい物
- 鳥の図鑑(科学センターでも小冊子を貸  
し出します。)
- 双眼鏡

### 〔 注意事項 〕

多摩川の河川敷まで出かけてフィールドワークを行いますので、外気温に応じて調節できる暖かい服装をお願いします。

### 〔 昨年観察できた野鳥 〕

オカヨシガモ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、キジバト、ドバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、オオバン、イソシギ、トビ、ユリカモメ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、ヒヨドリ、メジロ、ムクドリ、ツグミ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ、  
(23種)

特にユリカモメが間近にたくさんいて、ゆっくり観察できました。



マガモ



カンムリカイツブリ

## 平成28年度調布市科学センター閉講式のお知らせ

日時 : 平成29年2月18日(土)午後1時30分開式

場所 : 布田小学校体育館

閉講式は、センター員は全員出席です。くわしい案内は、後日各学校の連絡員の先生を通して配布します。

当日は、講座への参加状況により、科学センター修了証等を授与します。また、いくつかの講座の活動の様子もセンター員が発表します。

なお、保護者の皆様には保護者席を用意しますので、是非お越しください。

### 「科学する心」の原稿について

閉講式の日にはセンター員の皆さんに「科学する心」という冊子を渡します。この冊子には、毎回講座の終わりに皆さんが書いてくれた感想をのせています。すで書いてもらった人もいますが、何人かには、講座の内容や感想をさらにくわしく書いてもらいます。事務局から連絡しますので、原稿を書くことになった人は、清書した原稿を連絡員の先生に忘れずに出してください。